

4. 留守番機能を使う

転送電話モードを利用する

夜間や休日にかかってきた電話に対してあらかじめ設定したところに転送します。

●以下の6種類のモードがあります。

- ・転送電話モード……………通常の転送電話です。転送先は1カ所です。
- ・追っかけ転送モード……………1カ所目が応答しない場合は、2カ所目に転送します。
- ・ツイン転送モード……………2カ所を同時に呼び出し、先に応答した方に接続します。
- ・不応答後転送モード……………一定時間電話に出なかったときに転送します。転送先は1カ所です。
- ・不応答後追っかけ転送モード…一定時間電話に出なかったときに転送します。1カ所目が応答しない場合は、2カ所目に転送します。
- ・不応答後ツイン転送モード……一定時間電話に出なかったときに転送します。2カ所を同時に呼び出し、先に応答した方に接続します。

転送先の電話番号を登録する

転送先電話番号をテナントごとに14カ所まで登録することができます。

また転送先を登録した「転送先01」～「転送先14」ボタンを電話機に作っておけば、ワンタッチで転送先を指定できるので、頻繁に変更する場合に便利です。

工事者設定	プログラマブルキー	オプション
401	下記※参照	—

※留守切替(981)または夜間切替00(900)～夜間切替15(915)のいずれか、および転送電話(941)～不応答ツイン転送(946)、転送先01(831)～転送先14(844)、転送先①切替(845)、転送先②切替(846)で必要なもの

▶ 指定電話機：モード切替用電話機

1 メニューから「留守番機能」を呼び出す

- ① を押します。
- ② 「**F5** 留守機能設定」を選択し、 を押します。
- ③ 「**F5** 留守番機能」を選択し、 を押します。

<留守番機能>
1 留守モード 選択
 2 特定者留守モード 選択
 3 転送先登録
 4 留守録通知先
 ◀戻る▶決定▶次頁▶

2 で「**F3** 転送先登録」を選択し、 を押す

<留守番機能>
 1 留守モード 選択
 2 特定者留守モード 選択
3 転送先登録
 4 留守録通知先
 ◀戻る▶決定▶次頁▶

3 で転送先番号(01～14)を選択し、 を押す

- ・すでに登録されている場合は、その内容が表示されます。
- ・転送先番号(01～14)は、**転送先01**～**転送先14**ボタンに対応します。

<転送先登録>
 01 0902222XXXX
 中島〇郎
 02
 ◀戻る▶編集▶

4 転送先の電話番号を入力し、 を押す

- ・変更する場合は、 でカーソルを移動して必要な部分を変更できます。
- ・電話番号をすべて消去すると、 で操作3に戻ることができます。
- ・電話番号をすべて消去して を押すと、転送先の電話番号を消去することができます。

<転送先登録>
 02:0909999XXXX

 ■電話番号入力
 クリア消去
 ◀完了▶

5 登録完了画面が表示される

- ・終了する場合は、 を押します。
- ・ を押すと操作3に戻り、登録/変更を繰り返すことができます。

<転送先登録>
 02:0909999XXXX
 中島〇〇郎
 ■登録完了!
 終了▶ 継続▶

補足説明

- 共通電話帳に登録されている場合は、名前も表示されます。
- 転送先は、テナントごとに14カ所まで登録できます。登録操作ができる電話機は、テナントごとに16台まで（同時操作は1台）です。
- **[i]** ボタン + **[転送先()]** ボタンを押しても、操作4の画面となります。

ご注意

- 使用する転送先番号には、必ず電話番号を登録してください。
- フリーダイヤルなどの応答信号のない番号は、転送先として登録できません。
- PBXの内線に接続されている場合は、転送電話をご利用できません。

知っているとお利便なこと

- 転送先の電話番号登録は、外出先からのリモート操作で行うこともできます。⇒P4-54
- 電話番号の最後に **[#]** をダイヤルすると発信を開始するアナログ回線（PB）タイプのひかり電話アダプタ等を使用している場合は、「PB外線発信時 **[#]** ダイヤル自動付加」機能を設定すると、転送先を呼び出す時間を短縮することができます。
[工事者設定144]

転送電話発信用外線を設定する

転送電話で発信用に使われる外線を設定できます。

▶ 指定電話機：データ設定用電話機

1 メニューから「転送電話発信用外線」を呼び出す

- ① **[F1]** を押します。
- ② 「**[5] 汎用機能設定**」を選択し、**[F1]** を押します。
- ③ 「**[5] 留守番機能**」を選択し、**[F1]** を押します。
- ④ 「**[6] 転送電話発信用外線**」を選択し、**[F1]** を押します。

＜転送電話発信用外線＞
外線 **[]** - ... :

■ 外線番号2桁入力
先頭-最終(省略可)
◀ 戻る

2 先頭および最終（省略可能）外線番号（2桁）を入力し、**[F1]** を押す

＜転送電話発信用外線＞
外線 **[]** 1-04 :

■ 1-不可/夜-不可
■ 外線番号2桁入力
先頭-最終(省略可)
◀ 戻る 決定

3 **[F1]** を押し、項目を選択して **[F1]** を押す

- ・ 現在の設定を反転表示します。

＜転送電話発信用外線＞
外線 01-04 :

[0] 0 昼-不可/夜-不可
[0] 1 昼-不可/夜-可

◀ 戻る ▶ 決定

4 設定完了画面が表示される

- ・ 終了する場合は、**[F1]** を押します。
- ・ **[F2]** を押すと操作2に戻り、設定を繰り返すことができます。

＜転送電話発信用外線＞
外線 01-04 :

[1] 1 昼-可/夜-可
■ 設定完了!

終了 継続▶

補足説明

- 選択できる項目は下記のとおりです。

- [0] 0** 昼-不可/夜-不可
- [0] 1** 昼-不可/夜-可
- [1] 0** 昼-可/夜-不可
- [1] 1** 昼-可/夜-可

転送電話をセットする

例として、留守切替操作で[転送電話]を選択し、転送先として転送先03を指定する操作方法を示します。

工事者設定	プログラマブルキー	オプション
401,401-1	下記*参照	—

*留守切替(981)または夜間切替00(900)～夜間切替15(915)のいずれか、および転送電話(941)～不応答ツイン転送(946)、転送先01(831)～転送先14(844)、転送先①切替(845)、転送先②切替(846)で必要なもの

▶ 指定電話機：モード切替用電話機

■プログラマブルキーでセットする

1

留守切替 ボタンを押す

- [留守切替] ボタンが点灯します。
- 現在設定されているモードボタンのランプが点灯します。
- 現在設定されているモードがディスプレイに表示されます。

7月10日(金) AM10:10
NO.101 (中島○郎)
留守録音 メッセージ1
録音件数 010件
残時間 001時間15分
着信音量

2

転送電話 ボタンを押す

- [転送電話] ランプが点灯します。
- 設定したモードがディスプレイに表示されます。

7月10日(金) AM10:10
NO.101 (中島○郎)
転送電話
転送先①中島○郎
着信音量

3

転送先03 ボタンを押す

- [転送先03] ランプが点灯します。
- 転送先03に登録されている電話番号または名前(共通電話帳登録時)がディスプレイに表示されます。

7月10日(金) AM10:10
NO.101 (中島○郎)
転送電話
転送先①山田○次郎
着信音量

補足説明

- 操作1で、利用したいモードが表示されている場合は、操作2を省略します。(前回セットしたモードはクリアされずに残りますので、モードの使い分けをしない場合は、2回目以降はワンタッチでセットできます。)

転送先を変更しない場合は、操作3も省略します。

- [留守切替] ボタンの代わりに[夜間切替()] ボタンを押すこともできます。
- 転送電話を解除する場合は、セットした[留守切替] ボタンまたは[夜間切替()] ボタンを押します。解除されるとランプが消えます。
- 操作3で、[転送先()] ボタンの代わりに[転送先①切替] ボタンを押して、転送先番号を順次切り替えることができます。

例えば、転送先①の現在の設定が転送先03の場合、[転送先①切替] ボタンを押すたびに転送先04→転送先05→…転送先13→転送先14→転送先01→…転送先03の順に切り替わります。この場合、[転送先()] ボタンが設定されていると、該当する[転送先()] ランプも点灯します。

- 転送先の電話番号が13桁以上の場合は、ディスプレイには先頭の12桁が表示されます。
- 指定した転送先が共通電話帳に登録されている場合は、電話番号の代わりに名前が表示されます。
- 電話をかけてきた方に音声メッセージ(転送メッセージ)を流して転送することもできます。固定メッセージ「ただいま電話を呼び出しております。そのままお待ちください。」、または録音したメッセージ(P7-20)を利用することができます。[工事者設定401-1]

ご注意

- 転送電話の通話は、約60分(〜3-X版は30分)で強制的に切れます。(切れる10秒前に、“ピー”という警報音が通話をしている人に聞こえます。) ※通話時間は、変更することもできます。[工事者設定401-1]
- 転送先が2カ所の転送電話(ツイン転送や追っかけ転送)を選択するとき、[転送先()] ランプが1個点灯しているときに別の[転送先()] ボタンを押すと、2カ所目の転送先として登録されます。更に別の[転送先()] ボタンを押すと、1カ所目からの登録となります。

知っていると便利なこと

- モードの選択や、留守切替のON/OFF、夜間切替のON/OFF、転送先の選択等は、外出先からのリモート操作で行うこともできます。⇒P4-53
- 転送電話で転送先を呼び出している間は、電話に出ることもできます。[工事者設定401-1]
- 転送先が話し中や応答しなかったときは、相手の方にメッセージを流したり、相手の方の用件を録音することもできます。[工事者設定401-1]
- 転送電話の通話内容をボイスメモで録音することができます。通話内容は着信外線のテナントに対応した留守録ボックスに録音されます。[工事者設定401-1]

メニュー機能で転送電話のモードに切り替える

メニュー機能を利用し、専用のボタンがなくても留守番機能のモード切替や転送先選択を行うことができます。

工事者設定	プログラマブルキー	オプション
401	—	—

▶ 指定電話機：モード切替用電話機

■ 転送電話のモード（転送先1カ所）に切り替える

1 メニューから「留守モード」選択を呼び出す

- ① を押します。
- ② 「5 汎用機能設定」を選択し、を押します。
- ③ 「5 留守番機能」を選択し、

■転送電話のモード（転送先2カ所）に切り替える

転送先を2カ所設定できるモードでは、転送先1カ所目と転送先2カ所目を設定します。

1 メニューから<留守モード選択>を呼び出す

- ① を押します。
- ② 「**5** システム機能設定」を選択し、 を押します。
- ③ 「**5** 留守番機能」を選択し、 を押します。
- ④ 「**1** 留守モード選択」を選択し、 を押します。

<留守モード選択>
0 1 転送電話
 0 2 追っかけ転送
 0 3 ツイン転送
 0 4 不応答後転送
 ◀戻る ▶決定

2 で使用するモード「例：0 2 追っかけ転送」を選択し、 を押す

<留守モード選択>
0 1 転送電話
0 2 追っかけ転送
 0 3 ツイン転送
 0 4 不応答後転送
 ◀戻る ▶決定

3 転送先1カ所目の転送先番号（01～14）を入力し、 を押す

- を押す前は、転送先番号の入力をやり直すことができます。

<追っかけ転送>
 転送先1カ所目: **01**
 0902222XXXX
 中島○郎
 ■転送先: 01～14入力
 ◀戻る ▶決定

4 転送先2カ所目の転送先番号（01～14）を入力し、 を押す

- を押す前は、転送先番号の入力をやり直すことができます。

<追っかけ転送>
 転送先2カ所目: **03**
 0808888XXXX
 山田○次郎
 ■転送先: 01～14入力
 ◀戻る ▶決定

5 登録完了画面が表示される

- を押すと終了します。

<留守モード選択>
 追っかけ転送
 転送先①中島○郎
 転送先②山田○次郎
 ■登録完了!
 終了

ご注意

- メニュー機能で転送電話のモードに切り替えるだけでは、転送電話をセットできません。
 [留守切替] ボタンや[夜間切替] ボタンの操作、またはメニュー機能で留守切替や夜間切替を行ってください。